



この町に住みたいを応援します



さつま町では移住希望者を積極的に受け入れています。新生活準備、新規就農・就業の支援制度なども充実。

地域おこし協力隊 **川西 大輔** さん
2017年11月に地域おこし協力隊に着任。広島県出身。前職は広島市で飲食店を経営。



Q. 地域おこし協力隊に転進した経緯は？

40歳くらいで人生をガラリと変えたいと思っていました。また、「子育ては田舎で」とも考えていて、子どもが生まれたことをきっかけに田舎への移住を検討。思い切って踏み出しました。

Q. 実際に住んでみていかがですか？

とにかく人がやさしい。近所の方がいろいろと気をかけてくれて、「ちょっと子どもを見ましようか」と言ってくださる方もいます。人と人とのつながりの強さは、都市部とはまったく違います。

Q. さつま町を移住先に選んだのはどうして？

自然豊かな環境が素晴らしい。そして、子どもたちが元気に挨拶してくれる様子を見て「ここならいい子に育つぞ」と直感しました。子育て支援に関する制度も、とても充実しています。

Q. さつま町をどのように盛り上げていきたい？

町内には魅力がたっぷり。いろいろな可能性があると思います。歴史関係のものを掘り起こしてみてもおもしろそう。趣味で音楽活動もしていたので、音楽関係の企画も考えてみたいですね。

さつま町の移住支援

移住するとき、まず必要になるのが住む場所です。賃貸物件を探している方も、住宅の購入・新築を考えている方も、いろいろなケースに対応したサポートを行っています。そして、新規就農や新規事業への支援制度もあります。新たな暮らし、新たな挑戦を応援します。

分譲宅地

町の土地開発公社が管理する宅地の分譲を行っています。温泉の引き込みが可能な区画もあります。

定住促進住宅

1坪(3.3㎡)あたり月額100円で宅地を利用可能。満期(20年間)を迎えると自分の土地になります。

住宅取得補助金

移住における住宅の新築・購入・リフォームには補助金を支給。さらに、中学生以下の子どもがいる場合は人数に応じて補助金を加算します。また、さつま町土地開発公社・さつま町が販売する住宅地(佐志ニュータウン、湯田原ニュータウンなど)を購入した場合は「住宅団地加算」もあります。



佐志ニュータウン



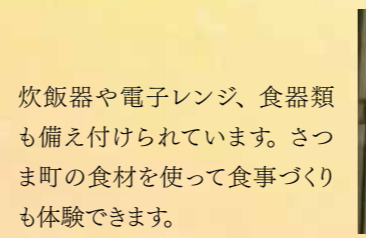
湯田原ニュータウン

さつま町移住交流施設「さつま体験宿」

移住希望者のための宿泊施設があり、さつま町の暮らしを体験しながらじっくりと移住を検討できます。最大で30泊可能。施設は町の中心部に立地し、周囲には公共施設や商業エリアがあります。この地域での暮らしをイメージしやすい環境です。1階と2階の部屋にそれぞれ体験入居できるようになっていて、事前の申し込みが必要。利用の90日前より申請できます。



間取りは3LDK。テレビや冷蔵庫などの家電も揃っています。フリー Wi-Fiでインターネット通信も利用可能。



炊飯器や電子レンジ、食器類も備え付けられています。さつま町の食材を使って食事づくりも体験できます。



ふるさと回帰フェア

関東圏などで開催される移住セミナーに参加し、町の情報発信を積極的に行っています。地域おこし協力隊員も同行し、移住者の視点でリアルな情報を伝えています。

